中期	中１ ２学期	“私”のいいところ	※学級活動など

１　目　標

○　自分のよさや長所に目を向け自己理解を深め、自分の特徴をもとに、自分の将来や進路について考えることができるようにする。

２　指導のポイント

○　本人から見た自分の興味や特徴について考えさせるために、チェックシートを使う。

○　自己理解を深めために、本人と他者から見た自分の特徴や興味をグループで話し合わせる。

○　将来の夢や仕事、進路について友達の発表を聞きながら再度考えさせる。

３　準備するもの

「“私”のいいところ」プリント、チェックシート（１人につき２枚）

４　事前・事後の活動計画

事　前	本　時	事　後
学級初めの自己紹介やプロフィールなどを確認し、振り返る。	「“私”のいいところ」	上級生の職場体験発表会などのキャリア教育に関する行事と関連付ける。

５　本時の展開

	学　習　活　動	指 導 上 の 留 意 点
導入（つかむ）	１　自分の性格について、自分のよさ・長所について話し合う。 ２　本時の活動とめあての確認をする。 **自分のよさ・長所を知り，将来の仕事や進路について考えよう。**	○　クラスの状況に応じて、４～６人のグループを作り、友達のよいところみつけをする。
展開（さぐる・見つける）	３　チェックシートを記入する。 (1)チェックシートの中の、自分に当てはまる特徴の部分にチェックをする。 (2)新しいチェックシートの中の、友達に当てはまる特徴の部分にチェックをする。 (3)プリントを配布し、２枚のチェックシートに「はい」と記入した数を記入させる。 ４　自己理解を深める。 (1)自分と周りの人のチェック数を比べて感じたことをグループで発表し合う。 (2)グループの代表が話合いの内容を発表する。 **例）自分では苦手だと思っていても，周りからは上手と思われていた。頑張っていたと言われてうれしかった。等** ４　将来の夢について考える。 (1)将来どのような仕事に就きたいか発表する。	○　グループ内でペアを作り、記入させる。 ○　ペアに自分のことを教えないようにさせ、あくまでもペアの人から見た自分の特徴をチェックさせる。 ○　グループの人は発表を聞いて、思ったことを話させる。発表者に得意分野があれば教えてあげるようにする。発表者には、もらった意見をプリントに記入するようにする。 ○　自分のよさを発揮するきっかけになるような話し合いにするために、全員が発表する時間を確保するとともに、 ○　各分野で得点の高かった生徒に発表させる。
まとめ（決める）	５　学習の振り返りをする。 (1)プリントに振り返りを記入し、将来の夢に向かって頑張りたいことを書く。 (2)学習の感想を発表する。	○　決まっている人も決まっていない人も、３年生になると進路選択があるので、それまでに自分の夢や将来就きたい仕事は何なのか、そのためにどのような進路があるのか考えさせるようにする。

参考文献　社会性と情動の学習（ＳＥＬ－８Ｓ）の進め方　中学校編　小泉令三／山田洋平（ミネルヴァ書房）（ユニットＧ１）

中期	中１ ２学期	“聞く”と“聴く”	※学級活動など

１　目　標

○　話を聞いて事実を知ることと、話の内容から相手の気持ちを理解することの違いについて知り、「正しい聞き方のポイント」と「相手の気持ちを知るヒント」を押さえた“きき方”ができるようにする。

２　指導のポイント

○　拒否的な態度と受容的な態度の両方の聞き方を見て「正しい聞き方のポイント」を考える。また、ポイントを使った聞き方をロールプレイする場を設定する。

○　“聞く”と“聴く”の意味の違いを調べるために、国語辞典を用いる。

○　相手の気持ちを理解する“聴き方”を知るために「相手の気持ちを知るヒント」を活用する。

○　“聞く”と“聴く”の違いを理解するために、２つのポイントを使ったゲームをする。

３　準備するもの

「“聞く”と“聴く”」プリント、劇用台本、ゲーム用カード、国語辞典

４　事前・事後の活動計画

事　前	本　時	事　後
小４で「しっかり聞こう（うめのかさ)」話の聞き方について学習。	「“聞く”と“聴く”」	中３の「“私”への思い」の他者理解へと関連付ける。

５　本時の展開

	学　習　活　動	指 導 上 の 留 意 点
導入（つかむ）	１　本時の活動とめあての確認をする。 【活動内容】 「正しい話の“きき方”のポイント」と「相手の気持ちを知るヒント」を押さえた‘きき方’ができるようになる。 **上手な話のきき方ができるようにしよう**	○　本時のめあてに向かうために、リスニングクイズを行う。
展開（さぐる・見つける）	２　正しい“きき方”のポイントについて考える。 (1)“きき方”のモデリングを行う。 (2)どちらの“きき方”のほうがよかったのか考え、その理由を発表する。 **正しいきき方のポイント『“アカメ”の“ウサ”ちゃん』** **【ア】あいづちを打つ　【カ】体（からだ）を向ける　【メ】目（め）を見る** **【ウ】うなずく　【サ】最後（さいご）まで聞く** (3)正しい聞き方のポイントを使いながらペアで話をする。その後、感想を発表させる。 (4)“聞く”と“聴く”の違いについて、国語辞典で調べる。 ※辞書が用意できない場合は、教師側から提示する。 ３　カードゲームをして、きき方には表情も大切であることに気付く。 (1)教師が「悲しい気持ちで『ありがとう』と言う」カードでモデリングする。 **相手の気持ちを知るヒント『“シカ”の“コマ”』** **【し】しぐさ　【カ】顔（かお）の表情** **【コ】声（こえ）の大きさ　【マ】周（まわ）りの様子** (2)グループで気持ち読み取りゲームを行う。	○　劇用台本を協力してくれる生徒に渡し、１回目は否定的に、２回目はポイントに沿って行う。 ○　目を見るのが苦手な人は目と目の間や鼻の上あたりを見るようにしてもよいと助言する。 ○　プリントにポイントを記入させる。 ○　「最近楽しかったこと」といった生徒が話しやすいテーマで話をする場を設定する。 **聞く：音を耳で感じ取ること。耳に感じて、知ること。** **→耳から入ってきた情報を音として認識すること。** **聴く：心を落ち着け、注意して耳に入れること。傾聴。** **→内容をよく理解し、話し手の気持ちを察すること。** ○　どのような気持ちで「ありがとう」と言ったのかを考える場を設定する。 **【ゲームのルール】** **〇４～６名のグループを作る。** **〇出題者は、指令カードの中から１枚カードを選び、そのカードに書かれている演技をする。** **〇その他の人は、演技を見てその気持ちを当てる。**
まとめ（決める）	４　学習の振り返りをする。 (1)プリントに振り返りを記入し、今後の聞き方について書く。 (2)学習の感想を発表する。	○　普段から人とコミュニケーションを図る上で、「聴く」姿勢を常に意識させ、スキルが定着するように図る。

参考文献　社会性と情動の学習（ＳＥＬ－８Ｓ）の進め方　中学校編　小泉令三／山田洋平（ミネルヴァ書房）（ユニットＢ１）

中期	中１ １学期	いろんな意見	※学級活動など

１　目　標

○　ブレーン・ストーミングの行い方を知る。

○　ブレーン・ストーミングの手法を使い、全員の意見を踏まえた最善の集団決定ができるようにする。

２　指導のポイント

○　ブレーン・ストーミングを行えるように「ブレーン・ストーミングのポイント」を知り、実際にブレーン・ストーミングを使った話し合いを行う場を設定する。

○　いつも通りの話し合いとブレーン・ストーミングのポイントを使った話し合いを比較し、全員の意見を踏まえた話し合いをするために必要なことについて考えさせる。

３　準備するもの

「いろんな意見」プリント、「ブレーン・ストーミング」説明、話し合いの手順、議題例、意見カード

４　事前・事後の活動計画

事　前	本　時	事　後
小４の「みんなで力をあわせて」で話し合いのルール“ヒジ”の“な”を学習。	「いろんな意見」	行事や部活動の場面において、ブレーン・ストーミングのポイントを押さえた話し合いができるように意識させる。

５　本時の展開

	学　習　活　動	指 導 上 の 留 意 点
導入（つかむ）	１　何か物事を決めるとき、どのような方法を使って決めているか話し合う。 ２　本時の活動とめあての確認をする。 【活動内容】 普段の話し合いとブレーン・ストーミングとの違いを知り、ブレーン・ストーミングのよさに気付く。	○　物事を決める方法には、様々あるがみんなが納得する話し合い方の必要性に気付き、翻字のめあてにつなげるようにする。 例）多数決　ジャンケン　話し合い　くじ　等
	自由な発言を出していく話し合いができるようになろう。	
展開（さぐる・見つける）	３　通常の話し合いを行う。 (1) グループを作り、司会者を決めて話し合いを行う。 （テーマ例）皆さんは、カレー会社の社員です。実はこの会社、カレー粉の売り上げが伸び悩んでいて困っています。そこで、カレー粉の売り上げを伸ばすための方法について会議をすることになりました。皆さんはどのような案を考えますか (2) 話し合いの結果どのような案が出たか、どのように話し合いを行ったか、グループで発表する。 (3) 出てきた案を見て気づいたことを発表する。 (4) うまく話し合いができたかどうか考える。 ４　「ブレーン・ストーミングのポイント」の確認と実施 (1) 「ブレーン・ストーミングのポイント」の確認。 ブレーン・ストーミングのポイント『“ヒカジリ”』 【ヒ】批（ひ）判厳禁　【カ】改（かい）善発展　【ジ】自（じ）由に発想　【リ】質より量（りょう） (2) ポイントをおさえながら同じテーマで話し合う。 (3) どのような意見が出たのか発表し、話し合いをして感じたことを発表させる。 ５　ブレーン・ストーミングを活用した話し合いをする。 (1) グループで司会者を決め、議題例を参考にポイントを意識しながらブレーン・ストーミングする。 (2) 話し合いの内容を発表する。	○　テーマは学級や生徒の状況に応じて決める。 例）面白いＣＭを流す。広告に載せる。 例）皆で話し合った。一人ずつ案を出し合った。 例）案が少ない。同じ案がある。 ○　意見カードを活用して意見を多く出させるようにする。 ○　意見がなかなか出ないグループには教師が助言をし、ポイントを確認する場を設定する。
まとめ（決める）	６　学習の振り返りをする。 (1) プリントに振り返りを記入し、ブレーン・ストーミングをどんな場面で活用したいのかを書く。 (2) 学習の感想を発表する。	○　行事（宿泊行事や体育大会）や部活動における話し合いの場面において活用できるように意識させる。

参考文献　社会性と情動の学習（ＳＥＬ－８Ｓ）の進め方　中学校編　小泉令三／山田洋平（ミネルヴァ書房）（ユニットＤ１）

中期	中１ ３学期	ストレスマネジメントⅠ	※学級活動など

１　目　標

○　よい影響を与える「善玉ストレッサー」を活かすことで目標達成の動機付けが高まることを知り、悪い影響を与える「悪玉ストレッサー」への適切な対処法を行うことができるようにする。

２　指導のポイント

○　「ストレッサー」と「ストレス反応」の意味やその関係について理解するために、例をもとにストレスについて考えさせる。

○　「悪玉ストレッサー」への対処方法を身に付けさせるために、「善玉ストレッサー」と「悪玉ストレッサー」の違いについて考えるようにする。

３　準備するもの

「ストレスマネジメントⅠ」プリント、教師用資料

４　事前・事後の活動計画

事　前	本　時	事　後
小学校の段階でストレス認知やストレス対処法について学習。	「ストレスマネジメントⅠ」	部活動の大会や試験前などストレスを感じやすい場面で活用できるように意識させる。

５　本時の展開

	学　習　活　動	指 導 上 の 留 意 点
導入（つかむ）	１　ストレスと聞いて何をイメージするか考える。 ２　本時の活動とめあての確認をする。 ストレスとの上手なつきあい方を学ぼう。	ストレスを感じた　いらいらした　きつかった たのしかった　もっとしたい　等 嫌なもの　体調を壊す　苦しいもの　等 ○　よい感じ方をしている生徒にも発表する場を設定する。
展開（さぐる・見つける）	３　ストレッサーとストレス反応について知る。 (1) 普段どのような場面でストレスを感じるか考える。 (2)ストレスには「ストレッサー」と「ストレス反応」があることを知る。 ４　善玉ストレッサーと悪玉ストレッサーについて考える。 (1)ストレスは自分にとってよいものか悪いものか考える。 (2)ストレスを感じて良い結果を生んだような経験が無いか振り返る。 (3)「善玉ストレッサー」と「悪玉ストレッサー」があることを知る。（プリントに書く） (4)過去を振り返り「善玉」「悪玉」の場面を発表する。 (5)ストレッサーの「強さ」や「考え方」で「善玉」「悪玉」が決まることを知る。 ５　悪玉ストレッサーの解消法について知る。 (1)悪玉ストレッサーを解消する方法について考える。 (2)ストレス対処法を体験する。（ここでは、グーパー体操を紹介するが、ストレッチや呼吸法でも構わない。）	【ストレッサー】ストレスを感じさせる事柄 →　テスト　部活の試合　発表会 【ストレス反応】ストレスを感じた結果の行動・反応 →　イライラする　手が震える　落ち着かなくなる ○　「悪い」という意見が多くでると予想されるのでその理由について発表させる。 集中できる　やる気がでる　はかどる　等 【善玉】いつも以上の力を発揮させてくれる 【悪玉】自分の心や体に悪い影響を与える 【善玉】対処できる程度なもの　不安・心配 【悪玉】対処できないほど強い　大丈夫・チャンスだ！ 【グーパー体操】 ①「グー」の合図で，全身に力を入れる。手足をグーにする。お腹にも力を入れる。顔もグーっと力を入れる。 ②５秒数え，その後力を抜く。これを５回繰り返す。 ③最後に深呼吸をする。
まとめ（決める）	６　学習の振り返りをする。 (1)プリントに振り返りを記入し、ストレスを感じたときの対処法を記入する。 (2)学習の感想を発表する。	○　「悪玉ストレッサー」対処法を実践し、試合前や試験前などで活用できるように意識させる。

参考文献　社会性と情動の学習（ＳＥＬ－８Ｓ）の進め方　中学校編　小泉令三／山田洋平（ミネルヴァ書房）（ユニットＣ１）

中期	中１ ３学期	タバコってかっこいい？	※学級活動など

１　目　標

○　未成年に対するタバコの健康への害やその依存症について理解し、タバコに手を出さない意志をもち、友人から誘われたときに適切に断ることができるようにする。

２　指導のポイント

○　喫煙をしないという強い意志を持つことができるように、資料を使って、一般的なタバコの害について理解させ、未成年者の喫煙による心身への影響を知らせる。

○　未成年の喫煙経験の割合や喫煙する同期について理解し、喫煙の誘いに対する「危険な状況での断り方のポイント」を身に付けさせるためにロールプレイを行う。

３　準備するもの

「タバコってかっこいい？」プリント、問題「タバコを吸うと…」、表「タバコの害」、図①～⑦

４　事前・事後の活動計画

事　前	本　時	事　後
中１の「はっきり断ろう」「ダメ！万引き」で「危険な断り方のポイント」を学習。	「タバコってかっこいい？」	長期休業日の過ごし方や「シンナー＆覚せい剤」、保健体育科の学習の内容と関連付ける。

５　本時の展開

	学　習　活　動	指　導　上　の　留　意　点
導入（つかむ）	１　年齢で決められていることにはどのようなことがあるかクイズ形式で考える。 ２　本時の活動とめあての確認をする。	例） 【16 歳】女性の婚姻　【20 歳】飲酒・喫煙 【18 歳】男性の婚姻・選挙権【25 歳】被選挙権
	タバコの害を知り、誘われた時の断り方を身に付けよう。	
展開（さぐる・見つける）	３　タバコの害について知る。 (1)タバコに含まれる成分について考える。 (2)有害物質は体にどのような害を与えるのか考え、発表する。 (3)図①を提示しがんによる死亡率を確認する。	○　タバコには、３大有害物質と言われている、ニコチン・タール・一酸化炭素以外にも 200 種類以上の有害物質、60 種類の発がん性物質が含まれていることに表「タバコの害」から気付かせる。
	喫煙習慣のある人は，喫煙習慣のない人に比べて肺がんになる可能性が４～５倍。その他の病気のリスクも高くなる。妊娠中の女性が喫煙をすると胎児の成長に悪影響を及ぼし，早産や死産になってしまうこともある。発育途中の未成年がタバコを吸うと同じように害がある。	
	(4)問題「タバコを吸うと…」の問題に答える。 ４　喫煙動機と「危険な状況での断り方のポイント」を考える。 (1)図⑥を提示し、喫煙経験率について考える。 (2)図⑦を提示し、喫煙する動機や理由について考える。 (3)誘われたときに断る方法について考える。	○　１問ずつ解説を行う。適宜、図②～⑤の資料を提示し詳細が分かるようにする。 ○　年々喫煙率は減少しているが、中学生以降に経験率が高くなっていることに気付かせる。
	危険な状況での断り方のポイント『“ハリ”の“ワニ”』 【ハ】はっきり断る【り】理由（りゆう）を伝える【ワ】話題（わだい）を変える【ニ】最後は逃（に）げる	
	５　ロールプレイを行う。 (1)「タバコってかっこいい？」プリントにポイントを使った断り方を書き、グループで話し合う。 (2)断り方のロールプレイを行う。	○　誘う役は生徒がするのではなく、必ず教師が行うようにする。
まとめ（決める）	６　学習の振り返りをする。 (1)プリントの振り返りを記入し、 (2)学習の感想を発表する。	○　未成年の喫煙は犯罪であることを確認し、どんなに断りにくい相手でも流されずきちんと断る決意をもたせるようにする。

参考文献　社会性と情動の学習（ＳＥＬ－８Ｓ）の進め方　中学校編　小泉令三／山田洋平（ミネルヴァ書房）（ユニットＦ２）

中期	中１ １学期	ダメ！万引き	※学級活動など

１　目　標

○　万引きによる被害や経済的損失の補塡について学び、万引きが重大な犯罪であることを知る。

○　軽い気持ちで万引きをしない意志を確認し、友人から万引きに誘われた際に断るスキルを身に付ける。

２　指導のポイント

○　万引きをしない決意をするために、万引きをされた商店の被害について学ぶ。

○　統計資料を用いて、中学生が犯す万引きの件数、理由などの詳細について知る。

○　断り方のスキルを身に付けるために、「危険な状況での断り方のポイント」について考え、しつこく誘われたときの断り方を考えてロールプレイをする。

３　準備するもの

「ダメ！万引き」プリント①、②、図「学業・職業別万引き検挙人数」、資料「１日 100 冊売れる本屋」

４　事前・事後の活動計画

事　前	本　時	事　後
中１の「はっきり断ろう」で「危険な断り方のポイント」を学習	「ダメ！万引き」	夏休みなどの長期休暇の過ごし方や「タバコってかっこいい？」「シンナー＆覚せい剤」の内容と関連付ける。

５　本時の展開

	学　習　活　動	指 導 上 の 留 意 点
導入（つかむ）	１　「万引き」という言葉を聞いてどのようなイメージがあるか発表する。 ２　本時の活動とめあての確認をする。 【活動内容】 万引きが店に及ぼす経済的損失を理解し、万引きをしない意志をもち、誘われた際に断るスキルを学習する。	○　「万引き」は「窃盗」のことであり、言葉により軽いイメージを与えていることに気付かせる。
	友達から万引きに誘われても断ることができるようになろう。	
展開（さぐる・見つける）	３　万引きの被害の実態と万引きに対する決意を持つ。 (1)「ダメ！万引き」プリント①の本屋さんの実態を読んで万引きがお店に及ぼす被害について知る。 (2)資料「１日 100 冊売れる本屋」を活用し１冊の万引きが店にどれほどの被害を与えるかを知る。 (3)万引きは額の多少に関わらず犯罪であることを確認し、万引きをしない決意を書く。 ４「危険な状況での断り方のポイント」について考える。 (1)図「学業・職業別万引き検挙人数」を活用し、万引きによる検挙状況を確認する。 (2)万引きをする理由について考える。 (3)「危険な状況での断り方のポイント」を考える。	○　本を１冊万引きされた場合、100 冊売らないと被害分を取り戻すことはできず、２冊以上万引きされると赤字になるということに気付かせる。 ○　万引きが原因で倒産する店も多く、「万引き倒産」という言葉もあるほど、大きな被害を及ぼす行為であることを押さえる。 ○　中高生による万引きが多いことに気付かせ、なぜ万引きをするのか原因を考えさせる。 例）お金がない　命令される　仲間はずれにされる
	危険な状況での断り方のポイント『“ハリ”の“ワニ”』 【ハ】はっきり断る【り】理由（りゆう）を伝える【ワ】話題（わだい）を変える【ニ】最後は逃（に）げる	
	５　ロールプレイを行う。 (1)プリント②の最初の部分を「断り方のポイント」を使って書き、前にでて発表をする。 (2)「ダメ！万引き」プリント②の続きの何度も誘ってくる部分を書き、発表する。	○　万引きを誘う役は生徒がするのではなく、必ず教師が行うようにする。
まとめ（決める）	３　学習の振り返りをする。 (1)プリント②に振り返りを記入し、万引きしないために自分がどう行動するか書く。	○　万引きは犯罪であり、店の人に大きな迷惑をかけること。そして、何より自分の人生を狂わせてしまう行為であると気付かせる。

参考文献　社会性と情動の学習（ＳＥＬ－８Ｓ）の進め方　中学校編　小泉令三／山田洋平（ミネルヴァ書房）（ユニットＦ１）

中期	中１ １学期	どうぞよろしく	※学級活動など

１　目　標

○　さまざまな場面で自分を表現することの大切さを知り、「自己紹介のポイント」を身に付け、適切に自己アピールができるようにする。

２　指導のポイント

○　数名の自己紹介を見て「自己紹介のポイント“話す内容”」に気付かせる。また、自分の特徴や性格をあらわす自己紹介での一言を考えさせる。

○　ロールプレイをしながら、「自己紹介のポイント“話す姿勢”」を考える。

○　担任の自己紹介が、その後の生徒同士の自己紹介のモデルになるようにする。

○　「自己紹介のポイント」を踏まえ、オリジナルの自己紹介になるように興味があること等を付け加えるようにする。

３　準備するもの

「どうぞよろしく」プリント①、②

４　事前・事後の活動計画

事　前	本　時	事　後
事前に自己紹介の内容を考えさせる。小５であいさつのポイントを学習。	「どうぞよろしく」	「話す姿勢」のポイントが分かる掲示物を教室に掲示し、日常生活で振り返っていく。

５　本時の展開

	学　習　活　動	指 導 上 の 留 意 点
導入（つかむ）	１　本時の活動とめあての確認をする。 【活動内容】 自己紹介のポイントに気づき、ロールプレイをしながら適切な自己紹介ができるようになる。	○　新学級になって、間もないことに留意し、話しやすい雰囲気を作るために、担任が自己紹介を行い、続いて生徒に担任に対する質問をさせる。
	自己紹介のポイントを身に付け、適切な自己アピールができるようになろう。	
展開（さぐる・見つける）	２　自己紹介のポイントを知り、自己紹介を行う。 (1)自己紹介のポイントについて考える。	○　数人に自己紹介をしてもらう。 ○　自己紹介は自分のことを知ってもらうために行うものであるため、名前だけでなく、自分を知ってもらえる一言アピールを加えると、とてもいい自己紹介になることに気付かせる。
	自己紹介のポイント“話す内容” ①こんにちは　②私は（名前）です。　③一言アピール　④よろしくお願いします。	
	(2)プリント①を配布し、４つのテーマについて自分の１番伝えたい一言アピールを考える。 (3)グループやペアを作り自己紹介をさせる。よかった点や気付いた点をプリントに記入する。	○　自己紹介のテーマを４つ与え、考えさせることで、自分の特徴に気付かせるようにする。
	自己紹介のポイント“話す姿勢”『“おかめ”のあいさつは、自分から』 ①【お】大（おお）きな声ではっきりと　②【か】体（からだ）を起こして ③【め】相手の目（め）を見て　④自分から	
	(4)ポイントを意識しながらもう一度自己紹介を行う。	○　内容と姿勢に注意するといい印象を与えることに気付かせる。
	(5)プリント②を配布し、オリジナルの自己紹介を考える。 (6)全員（グループでも可）が前に出て、自己紹介を行う。 ※わからない場合はヒントを出す。	○　イメージしやすいように教師がモデリングを行う。 **例）【好きなスポーツ】こんにちは。（バットをスイングするふりをしながら）野球大好き〇〇です。よろしくお願いします。**
まとめ（決める）	３　学習の振り返りをする。 (1)プリント②に振り返りを記入し、今後の自己紹介の行い方を書く。 (2)学習の感想を発表する。	○　委員会活動や部活動、校外学習において自己紹介することがある場合に、この学習で学んだことを思い出して自己紹介できるようにさせる。

参考文献　社会性と情動の学習（ＳＥＬ－８Ｓ）の進め方　中学校編　小泉令三／山田洋平（ミネルヴァ書房）（ユニットＡ１）

中期	中１ ２学期	はっきり断ろう	※学級活動など

１　目　標

○　断ることの重要性を知り、断り方のロールプレイを通して、必要な場面で断ることができるようにする。

２　指導のポイント

○　断ることでよりよい人間関係を維持できることに気付かせるために、断ることの重要性について説明する。

○　相手に不快な思いをさせない断り方を身に付けるために、「断り方のポイント」を使った断り方のロールプレイを行う。

○　危険な状況で断ることは自分の身を守ることになることを理解させるために、「危険な状況での断り方のポイント」を使った断り方のロールプレイを行う。

３　準備するもの

「はっきり断ろう」プリント、モデリング台本、断る場面カード（２種類）

４　事前・事後の活動計画

事　前	本　時	事　後
小学校「断る方法いろいろ」の学習を振り返る。	「はっきり断ろう」	長期休業日における過ごし方や「ダメ！万引き」「タバコってかっこいい？」「シンナー＆覚せい剤」の内容と関連付ける。

５　本時の展開

	学　習　活　動	指 導 上 の 留 意 点
導入（つかむ）	１　断らなければ場面を想起させ（遊びに誘われるなど）、その時の対応について話し合い、本時の活動とめあての確認をする。	○　断ることでよりよい人間関係を維持できることに気付かせるために、断らなければならない時の事例を挙げる。
	はっきり断ることの大切さについて考えよう。	
展開（さぐる・見つける）	２　断ることについて考える。 (1) 友人からの誘いを自分の都合で断らなければないない場面について考える。 (2) 断らなかった場合にどのような結果になるのかを考える。	例）断りにくい　相手を嫌な思いにする　嫌われる 例）自分が損をする　相手はうれしい
	３　断り方を練習する。 (1) モデリング台本を使い、断る場面のロールプレイをする。 (2) 相手に不快な思いをさせずに断る方法を考える。	○　生徒の実態に応じて断る場面を変更する。
	断り方のポイント『断るのは“こわかー”』 【こ】はっきり断（ことわ）る　【わ】わけを伝える　【か】代（か）わりの案を伝える	
	(3) ペアを作り、断る場面カードを引いてロールプレイをし、「はっきり断ろう」プリントにどのくらいできたかチェックする。 (4) 危険な状況での断り方について考える。	○　３人組の場合は１人が観察者となり評価させる。
	危険な状況での断り方のポイント『“ハリ”の“ワニ”』 【ハ】はっきり断る【り】理由（りゆう）を伝える【ワ】話題（わだい）を変える【ニ】最後は逃（に）げる	
	(5) 断る場面カード（危険な状況）で断る練習をする。	○　誘う役割は教師が行い、ペアやグループの代表生徒が一斉に断わらせる。
まとめ（決める）	４　学習の振り返りをする。 (1) プリントに振り返りを記入し、これから行っていきたい断り方を書く。 (2) 学習の感想を発表する。	○　断る場面は普段の生活においても常にある場面であり、特に長期休暇中には危険な誘いがよくあるため、ポイントを抑えた断り方ができるように意識させる。

参考文献　社会性と情動の学習（ＳＥＬ－８Ｓ）の進め方　中学校編　小泉令三／山田洋平（ミネルヴァ書房）（ユニットＣ１）

中期	中１ ２学期	わかりやすく伝えよう	※学級活動など

１　目　標

○　相手に分かりやすく伝えるための「伝え方のポイント」を理解し、そのポイントを使って上手に伝えることができるようにする。

２　指導のポイント

○　分かりやすい伝え方を考えることができるように、いくつかの場面をあげ、説明する。

○　大切な内容を分かりやすく伝えることができるようにするために、「伝え方のポイント」をまとめる。

○　適切な伝え方を判断し、発言を工夫することができるように、さまざまな場面を設定してロールプレイを行う。

３　準備するもの

「わかりやすく伝えよう」プリント、絵①、絵②

４　事前・事後の活動計画

事　前	本　時	事　後
中１の「はっきり断ろう」と関連付ける。	「わかりやすく伝えよう」	中３の「上手な伝え方」「初対面での話し方」と関連付ける。

５　本時の展開

	学　習　活　動	指 導 上 の 留 意 点
導入（つかむ）	１　主語と述語を入れ替えたり、隠して当てたりするゲームをして、本時の活動とめあての確認をする。	○　主語、述語のみの文を読み、子どもに聞かせ感じたことを発表し、本時のめあてにつなげるようにする。
	相手に分かりやすい伝え方について考えよう。	
展開（さぐる・見つける）	２　分かりやすい伝え方について考える。 (1) 八百屋の説明について、わかりにくい説明を聞く。	○　結果（名前）がわかっていないと、内容の説明をされてもよく分からないことに気付かせる。
	「そこには，赤・黄・オレンジ・緑・紫・ピンクなどのさまざまな色のものがあります。白やオレンジは長く、緑には濃い色や薄い色があります。ピンクは壊れやすいので気を付けて扱わないといけません。黄色は硬いです。【赤】トマト【黄】レモン【オレンジ】にんじん【緑】ホウレンソウ【白】大根【ピンク】桃　等	
	(2)「わかりやすく伝えよう」プリント使って、伝え方の違いについて考える。 (3) 伝え方のポイントについて考える。	○　伝え方の違いによって、相手の受け止め方が異なることに気付かせる。
	伝え方のポイント ① まず，最も伝えたい内容（全体像）の説明、② 次に，細かな説明（補足説明）	
	(4) 場面①、②において、自分の考えた伝え方をプリントに記入し、グループでロールプレイを行う。	○　伝え方の最後に代案を提示すると、相手に気持ちが伝わりやすいことを説明する。
	【伝え方の例】 場面①「Ａ君は病院にいます。部活動中に突き指をして副顧問の先生が病院に付き添っています。」 場面②「ごめんね。今日お母さんからおばあちゃんのお見舞いに行ってきてと言われたので、今日は一緒に帰れないの。明日一緒に帰ろうね。」	
まとめ（決める）	３　学習の振り返りをする。 (1) プリントに振り返りを記入し、これから伝えるときに気を付けることを書く。 (2) 学習の感想を発表する。	○　「伝え方のポイント」をおさえながら、自分の気持ちを伝えられるように普段から意識するようにさせる。

参考文献　社会性と情動の学習（ＳＥＬ－８Ｓ）の進め方　中学校編　小泉令三／山田洋平（ミネルヴァ書房）（ユニットＣ２）

中期	中１ １学期	学校でのミニボラ？	※学級活動など

１　目　標

○　文化祭や体育祭などの学校行事で積極的に役割を果たすことが、ボランティアになることに気付くようにする。

○　積極的に学校行事や委員会活動に参加する意思をもち、具体的な活動内容を決定することができるようにする。

２　指導のポイント

○　ボランティアの意味を知るために、自分が他の人にしてもらったことについて具体的に考える。

○　学校でできるボランティアの意味を考える。また、身近でできるちょっとしたボランティア（ミニボラ）があることを知る。

○　学校行事で積極的に自分の役割を果たすことも、ボランティアの１つになることに気付き、具体的に取り組む「ミニボラ」を決定する場を設定する。

３　準備するもの

「学校でのミニボラ？」プリント、読み物「リレー選手になって」、色ペン

４　事前・事後の活動計画

事　前	本　時	事　後
小６で「下級生のお世話」を学習し、相手の気持ちを考え、お世話をする内容を学習。	「学校でのミニボラ？」	普段の学校生活や、体育祭や文化祭などの学校行事において自発的な取り組みにつなげる。

５　本時の展開

	学　習　活　動	指 導 上 の 留 意 点
導入（つかむ）	１　「ボランティア」と聞いた時、どんなことをイメージするか発表する。 ２　本時の活動とめあての確認をする。 【活動内容】 ボランティアの意味を知り、学校生活におけるミニボラを実践する意思をもち、実践意欲を高める。 **学校生活でできるボランティアについて考え、実践しよう。**	例）災害時の救援活動　　高齢者のサポート 国際協力ＮＧＯ　等
展開（さぐる・見つける）	３　ボランティアの意味について知る。 (1) ボランティア経験について振り返り、経験のある生徒はその内容を発表する。 (2)「ボランティア」という言葉の意味について考える。 **【ボランティア】**個人の自由意志に基づいて、労力や時間などを進んで提供し、社会に貢献すること。 ４　学校でのミニボラについて考える。 (1) 学校でできるボランティアには何があるか考える。 (2)「学校でのミニボラ？」プリントにボランティアだと思うものにチェックを入れる。 (3) プリントの項目を１つずつ確認する。 (4) 自分の周りのミニボラについて考える。 **【ミニボラ】身近でできるちょっとしたボランティアのこと。** ５　ミニボラの実施計画を立てる。 (1) 読み物「リレー選手になって」を読み、感想を発表する。 (2) チェックをいれた「学校でのミニボラ？」プリントの項目の中で、学校でやってみようと思うものに色ペンで印を入れ、項目以外のミニボラを考えた人は「その他」に印をつけてその内容を書き自己決定する。	例）ゴミ拾い　募金　海外の学校に文房具を寄付 電車で席をゆずる　道案内をする。　等 ○　上記の内容は全てボランティアであるということに気付かせる。 ○　プリントの項目は、学校の実情に即して適宜変更する。 ○　意見が分かれた項目に関しては、その理由について考え、発表させる。 ○　ミニボラは全ての人に役立つ活動であると気付かせ、やりがいを感じられるようにする。 ○ ミニボラはちょっとした心掛けですぐにでもできることであることに気付き、自己決定できる場を設定する。 ○　複数の項目にチェックを入れるように促す。
まとめ（決める）	６　学習の振り返りをする。 (1) プリントに振り返りを記入する。 (2) 学習の感想を発表する。	○　チェックしたミニボラを実際に学校で実践することができるように意識させる。

参考文献　社会性と情動の学習（ＳＥＬ－８Ｓ）の進め方　中学校編　小泉令三／山田洋平（ミネルヴァ書房）（ユニットＨ１）

中期	中１ １学期	私たちの生徒規則	※学級活動など

１　目　標

○　自分の学校の生徒規則を知り、規則の必要性や意義について理解し、生徒規則を守ろうとする意欲を高めることができるようにする。

２　指導のポイント

○　自分の学校の生徒規則を知るために、生徒手帳等で確認する場を設定する。
○　規則を守ることの大切さに気付かせるために、ルールを自由に作成するカードゲームを行う。
○　安全と平等のために規則があることに気付かせるために、生徒規則以外の身近な規則を考える場を設定する。
○　自分の学校の生徒規則が、どのように自分たちの安全と平等を確保しているのかをプリントを使い考えさせる。

３　準備するもの

「私たちの生徒規則」プリント、ゲーム用カード、生徒手帳

４　事前・事後の活動計画

事　前	本　時	事　後
身の回りにある数多くのルールについて考えさせる。	「私たちの生徒規則」	生徒総会や総会に向けての学級討議、日常生活において規則の必要性や意義を感じさせる。

５　本時の展開

	学　習　活　動	指 導 上 の 留 意 点
導入（つかむ）	１　「ルール」や「規則」と聞いてどのようなイメージがあるか、発表する。（個人） ２　本時の活動とめあての確認をする。 【活動内容】 カードゲームを通して、規則やルールの必要性や意義について理解し、生徒規則を守ろうとする意識を高める。 **規則やルールの必要性や意義について理解をしよう。**	○　様々な意見（否定・肯定・その他）が飛び交うことができるように雰囲気を作る。
展開（さぐる・見つける）	３　カードゲームを行う。 (1) ゲーム用カードを配布しカードゲームを行う。 ※ペアやグループで実施。ルールは自由に決めて行う。 (2)どんなゲームをしたのか発表する。 (3)カードゲームにルールがなければどうなるのか考えさせる。 ４　規則について考える。 (1)自分の学校の規則についてクイズを行う。 ※○×形式で挙手する。 ５　普段の生活の中で身近にどのようなルールがあるか考える。 ６　生徒規則によってどのような安全と平等が守られているのか考える。 (1)「私たちの生徒規則」プリントを配布し、ペアやグループでテーマを設定し、その規則がなかったらどうなるのかを考え、記入する。 (2)代表が発表し、全体で共有する。	○　生徒手帳でクイズの正解を確認させる。 **例）Ｑ　靴下の色は黒である。　Ａ　×　正解は白** **Ｑ　装飾品はつけない。　Ａ　○　正解** ○　「カードでゲームをしてください」とだけ伝える。戸惑っている場合は、「自分たちで自由にゲームをしてください」と伝える。 **例）神経衰弱　じじ抜き　数が少ない方が勝ち　等** ○　ルールがあって良かったと感じさせる。 ○　ルールがあるから、安全や平等が守られていることに気付かせる。 **例）交通ルール　スポーツのルール　等** ○　生徒規則があるから、学校生活の安全や平等が守られているということに気づかせ、規則の意義や必要性があると感じさせる。 ○　生徒総会は、規則について考え、規則の変更について議論する場であることを押さえ、変更を要求する際には、生徒の安全と平等の視点で考えなければならないと気付かせる。
まとめ（決める）	７　学習の振り返りをする。 (1)プリントに振り返りを記入し、どのように規則を守っていきたいか書く。 (2)学習の感想を発表する。	○　学級討議や生徒総会につながるようにまとめる。 ○　普段の学校生活を振り返らせ、規則を守る意識を高めさせる。

参考文献　社会性と情動の学習（ＳＥＬ－８Ｓ）の進め方　中学校編　小泉令三／山田洋平（ミネルヴァ書房）（ユニットＡ２）

中期	中１ ３学期	友だちが怒っちゃった!?	※学級活動など

１　目　標

○　人間関係においてトラブルが起きた時の「トラブル解決のポイント」を理解し、自分の身に起こったトラブルを解決することができるようにする。

２　指導のポイント

○　トラブル解決のためにはトラブル事態の内容を把握させ、落ち着く必要があることに気付かせる。

○　「トラブル解決のポイント」を理解させるために、手順に沿って事例を解決させるようにする。

○　「トラブル解決のポイント」を身に付けさせるために、事例を使って、解決方法を練習させる場を設定する。

３　準備するもの

「友だちが怒っちゃった!?」プリント①、②

４　事前・事後の活動計画

事　前	本　時	事　後
心の落ち着け方として、中１「ストレスマネジメント」を学習する。	「友だちが怒っちゃった!?」	日常生活におけるトラブル解決の場面で、活用できるように意識づけする。

５　本時の展開

	学　習　活　動	指 導 上 の 留 意 点
導入（つかむ）	１　「友だちが怒っちゃった!?」プリント①を活用し、友だちとの間でトラブルが起きたときの自分の行動について確認する。 ２　本時の活動とめあての確認をする。 **トラブルを上手に解決する方法を考えよう**	○　トラブルについて振り返ることができるように、教師の体験談などを話す。
展開（さぐる・見つける）	３　「トラブル事態の把握」と「深呼吸」について考える。 (1) トラブルの例文を読み、どんな気持ちになるのか発表する。 **【例文】いつも仲良しのＡさんが、今日は朝から話しかけてもムスッとしています。昼休みも一緒に遊ぼうと思っていたのに、何も言わずにどこかに行ってしまいました。もしかしたらＡさんは私に怒っているのかな…と思いますが、心当たりはありません。** (2)「トラブル事態の把握」をし、「深呼吸」をする。 ４　トラブルの解決方法について考える。 **トラブル解決のポイント「トラブル解決４兄弟」** **①【明】目標を明らかにする　②【考多】多くの解決策を考える** **③【よそ男】結果を予想する　④【きめ男】最もよい方法を決定し実行する** ５　トラブルの解決のポイント練習をする。 (1)「友だちが怒っちゃった!?」プリント②を活用し、ポイントを押さえながらトラブル解決方法を考える。 (2) 全員で意見を共有する。	**例）ドキドキする　不安になる　イライラする** ○　心を落ち着け、トラブルの内容をまず把握することが重要であると気付かせる。 ○　プリント①にポイントを記入させる。 ○　プリント②の目標の欄を学級で同じものにし、話をまとめやすくする。 ○　実態に応じて、小グループの話し合いを入れてもよい。
まとめ（決める）	６　学習の振り返りをする。 (1) プリントに振り返りを記入し、トラブルが起きたときの行動について書く。 (2) 学習の感想を発表する。	○　「トラブル解決のポイント」を押さえながら、自分の気持ちを伝えられるように普段から意識するようにさせる。

参考文献　社会性と情動の学習（ＳＥＬ－８Ｓ）の進め方　中学校編　小泉令三／山田洋平（ミネルヴァ書房）（ユニットＤ２）